

・のりたえⅡドキュメンタリー映画プロデューサー」6日午後2時半、肝細胞がんのため、西宮市の自宅で死去、73歳。神戸市兵庫区出身。葬儀・告別式は近親者で済ませた。

兵庫県映画センターに勤務し、1984年に故高橋一郎監督らと「映画製作委員会」を結成。ハンセン病問題をテーマにした「もういいかい」などを製作した。活動弁士・故井上陽一さんの無声映画上映会も長年企画した。



鵜久森典妙さん73歳
Ⅱ映画プロ
・のりたえ
(うくもり)

Ⅰ6日、肝細胞がんのため死去。葬儀は近親者で営んだ。

関西を拠点に、核廃棄物をテーマにした「24000年の方舟(はこぶね)」(1986年)を製作後、「奇妙な出来事アトピー」(91年)、「風ものがたり」食と農と環境」(95年)、「もういいかい」ハンセン病と三つの法律(2012年)など市民の視点からドキュメンタリー映画製作を続けてきた。ハンセン病患者に寄り添う治療を続けた医師を描いた「一人になる」(21年)が最後の作品となった。



鵜久森 典妙さん(うくもり)
のりたえⅡ映画
プロデューサー

Ⅰ6日、肝細胞がん死去、73歳。葬儀は近親者で営んだ。

6月にハンセン病のシンポジウムの席上で倒れて67歳で急逝した高橋一郎監督らと共に、原発の問題点を浮き彫りにした「24000年の方舟(はこぶね)」や、国のハンセン病隔離政策に反対した小笠原登医師を描いた「一人になる」など、多くの社会派ドキュメンタリー作品を制作した。

鵜久森典妙氏 73歳(うくもり)
・のりたえⅡドキュメンタリー映画プロデューサー」6日、肝細胞がん死去。告別式は、家族で済ませた。

神戸市出身。ハンセン病患者の強制隔離や核廃棄物をテーマにした作品のほか、今年2月に亡くなった活動弁士、井上陽一さんを追う作品も手がけた。